

1 単元名 構成をくふうして書こう(東京書籍)

2 目標

日ごろ使っている言葉の使い方について考えを深めようとしている。(関心・意欲・態度)
 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えて意見文を書くことができる。(書く能力)
 文章にはいろいろな構成があることを理解することができる。(言語事項)

3 指導にあたって

(1) 単元について

6年生のこの時期は、精神的な成長が見られるとともに、広く社会に目を向け、さまざまな事柄について問題意識を抱き、自分なりの考えをもつようになってくる。そこで、自分の考えを明確に表すため、文章全体の構成の効果を考えて書く力をしっかりと身に付けさせたいと考え、本単元を設定した。

また、本単元では、自分たちが日ごろ使っている言葉の使い方を題材として取り上げることにより、児童がこれまでの学習を通して習得してきた言語感覚や言葉に対する価値観などを再確認させ、言葉への認識を深めるきっかけにしたいとも考えている。

さらに、優れた文章や友達が書いた文章から表現の「型」をまねることは、書く力を身に付けるための有効な手立ての一つであるという考えから、教科書に例示された意見文や友達が書いた意見文などを評価しながら読む活動を取り入れることで、読解力向上との関連を図りたいと考えている。

(2) 児童の実態(*人)

9月に学習した単元「ニュース番組をつくろう」で児童が書いたニュース原稿の内容を分析したところ、指導した書き方(「話題提示」、「取材内容」、「取材内容の分析・自分の意見」の順で書く)ができた児童は*人であった。しかしながら、「取材内容の分析・自分の意見」の段落の内容として十分に満足できるととらえた児童は*人であった。

また、全国学力・学習状況調査[国語B](平成21年4月21日 *人実施)の結果から見た本単元にかかわる児童の読解力の実態は、次の通りである。

設問番号	出題の趣旨	問題形式	全国平均との比較	
			正答率	無解答率
1二	目的や意図に応じて、事象や意見などを関連付けながら書く	記述式	+*%	+*%
3二(2)	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる	記述式	+*%	+*%

正答率は全国平均を上回っているものの、無解答率は全国平均よりも高く、自分の意見や考えを書き表すことを苦手とする児童が多いことが分かる。その原因を普段の授業から分析すると、文章の書き出しが分からなかったり、どのようなことを書けばよいのかが分からなかったりすることにあると考える。

年度当初から、書く視点を示したり書き出しの文に続けて書いたりするワークシートを使った学習を重ねることで書く力の向上を図っており、本単元では意見文を構成する段落の役割や効果を考えながら読む活動を取り入れることで、新たな表現の「型」を身に付けられるようにしたいと考える。

(3) 指導観

本単元では、『小学校学習指導要領解説 国語編』(平成20年8月)の「B 書くこと」の指導事項「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」と、『読解力

向上に関する指導資料』(平成17年12月)の指導のねらい「テキストを理解・評価しながら読む力を高めること」、「様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること」を関連付けて指導していくことにする。その際、次に示す三つの手立てを取り入れ実践する。

[手立て1] 書き手の意図を考えながら読む活動の設定

自分の考えを明確に表現するための文章構成の工夫をとらえるため、「段落カード」(教科書に例示されている意見文を段落ごとに切り離れたカード)を書き手の意図を考えながら並べる活動を行う。本時の授業では、「読み手をひきつける書き出し」と「予想される反対意見への反論」の二つの工夫をとらえさせ、児童が書く意見文に取り入れさせたいと考える。

[手立て2] 教材の工夫

言葉の使い方についての意識・実態調査を実施し、その結果を表やグラフにまとめたものを教材として用いる。そうすることで、日ごろ使っている言葉の使い方への関心を深められるようにするとともに、そこから読み取ったり考えたりしたことを意見文として表すことで、多様なテキストに対応した読む能力を育成していきたいと考える。

[手立て3] 互いの意見文を交流する活動の設定

互いが書いた文章のよさを感じ取ることを大切にしながら交流するとともに、相手に助言することによって、自分たちが日ごろ使っている言葉についての考えを深めることができるようにしたい。また、交流の際には文章構成や表現、表記などを評価する欄を設けたアドバイスカードを活用することで、互いの表現の向上につながるようにしたいと考える。

4 指導と評価の計画(7時間扱い)

時	学 習 活 動	評価規準(評価方法)	配慮を要する児童への支援
1	生活の中の言葉の使い方を振り返り、本単元の学習の見通しを立てる。	関 日ごろ使っている言葉の使い方についての課題を見付けようとしている。 (発言・ワークシート)	事前に実施した言葉の使い方についての意識・実態調査を提示し、課題を見付けやすいようにする。
本時	書き手の意図を考えながら、段落カードを並べる。	書 自分の考えを明確に表現するための文章構成の工夫をとらえている。 (発言・ワークシート)	段落カードを並べるポイントを示し、互いの考えを交流する活動を設定することで本時のねらいに迫れるようにする。
3 ・ 4	前時の学習を参考にして構成メモを書く。	書 自分の考えを明確に伝えるため、構成メモを書いている。(構成メモ・観察)	(児童)構成メモを交流する活動を通して互いに助言し合う。 (教師)構成メモのよい点を認めながら、不足していたり修正したりする事柄を具体的に助言する。
5	構成メモ、取材メモを基に、意見文を書く。	書 言 文章全体の構成を工夫して、自分の考えを明確に書き表している。(意見文)	原稿用紙の使い方や誤りやすい表現などを提示する。
6	互いの意見文を交流し、推敲する。	書 交流を通しての友達の意見や自分の考えを基に、意見文を推敲している。 (観察・意見文)	児童が書いた意見文のよい点を認めながら、不足していたり修正したりする事柄を具体的に助言する。
7	学習を振り返り、自分が日ごろ使っている言葉の使い方について考えたことを発表する。	関 自分が日ごろ使っている言葉の使い方について振り返りをしている。 (感想・発言)	教師の言葉の使い方による失敗談や日ごろの児童の言葉の使い方のすばらしい点を語りながら、言葉への関心をもてるようにする。

5 本時の学習

(1) 目標

段落カードを順番に並べる活動を通して、自分の考えを明確に表現するための文章構成の工夫をとらえることができる。

(2) 準備・資料

・段落カード ・ワークシート ・掲示用段落カード ・のり

(3) 展開 < は児童が安心して授業に参加できるための工夫、 は評価 >

時間	学習活動・内容	指導上の留意点・評価
3分	1 本時の学習課題を確認する。 (一斉) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分の考えが相手にはっきりと伝わるように書くためには、どんな工夫が必要だろう。</div>	・本時は、「言葉の行きちがい」について書かれた意見文を教材にして学習を進める。そこで、児童にとって身近な言葉の行きちがいの例を取り上げてその意味を説明するとともに、学習への興味を抱かせるようにする。
20分	2 書き手の考えが明確に伝わるように段落カードの並びを考える。 (1) 書き手の考えを確認する。 (一斉) (2) 段落カードの並べ方の説明を聞く。(一斉) 序論、本論前半、本論後半の三つの組をつくる。 三つの組の並びを考える。 (3) 段落カードを並べる。 (個別 一斉)	・本時は自分の考えを明確に表現するための序論、本論の組立てをとらえることに重点を置くことから結論はあらかじめワークシートに示しておく。 ・本時の意見文は、尾括型の文章であることを確認する。 読むことを苦手とする児童が意欲的に取り組めるようにするため、序論と本論前半、本論後半(予想される反対意見への反論)のカードの色を変え、段階的にカードを並べさせる。 ・段落カードを並べた根拠を明確にするため、段落の並びを考える際に着目した語句や文などに鉛筆でしるしをつけさせる。
18分	3 書き手が自分の考えを明確に伝えるために工夫していること考える。(個別 一斉) <児童に気付かせたい工夫> ・読み手を引きつけるため、序論に実体験を書いている。 ・説得力を出すため、本論に予想される反対意見への反論を書いている。 ・説得力を出すため、本論にアンケート結果を具体的に書いている。	・書き手の工夫をとらえやすくするため、序論と本論に書かれている事柄を児童に尋ねながら確認する。 これまでの学習を基にした児童の多様な意見を尊重しながら、本時でねらう「読み手をひきつける書き出し」、「予想される反対意見への反論」の二つの工夫に気付けるようにしたい。 自分の考えを明確に表現するための文章構成の工夫をとらえることができる。 (発言・ワークシート) ・概ね満足できると判断した児童は、意見文をさらによいものにするためにどのような工夫をしたらよいかを考える。 努力を要すると判断した児童は、教科書に示されている自分の考えがよく分かるように書くための文章構成の工夫を読んで確認する。
3分	4 本時の学習を振り返る。 (一斉)	・読み手を意識して文章を書くことの大切さを確認する。
1分	5 次時の課題と内容を知る。 (一斉)	・次時は本時の学習を基に、構成メモを書くことを伝える。